

第12次労働災害防止推進計画（12次防）の進捗状況

平塚労働基準監督署

平塚労働基準監督署は、厚生労働大臣が定めた第12次労働災害防止計画を踏まえて、各種労働災害防止対策に取り組んでいます。

計画期間

平成25年度から平成29年度（5か年計画）

計画の全体目標

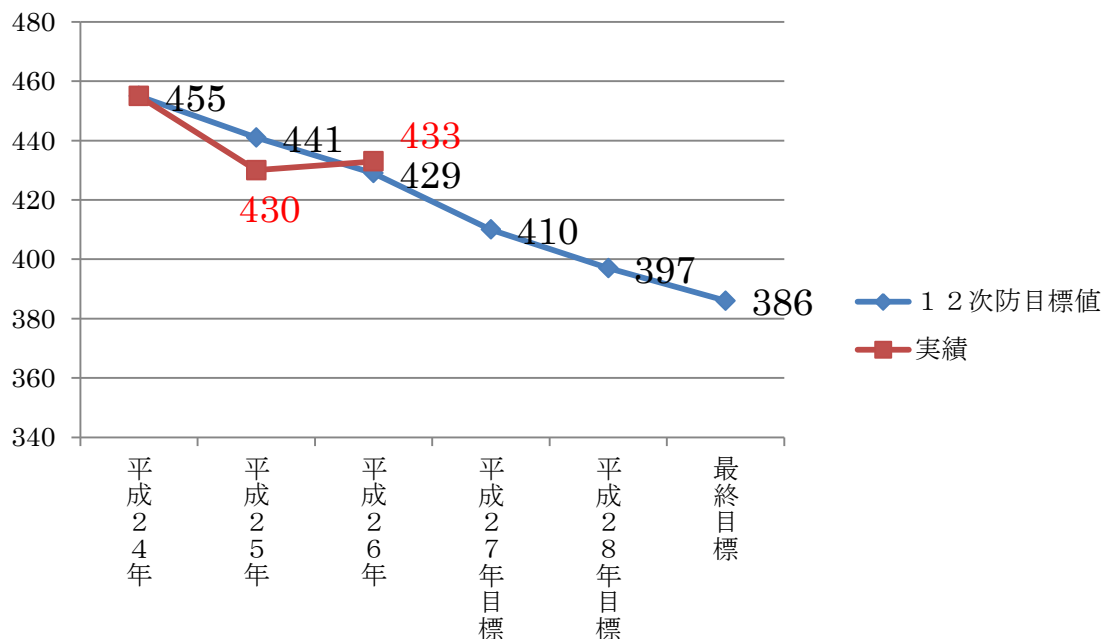
- ・ 計画期間中の死亡災害0人
- ・ 平成29年の全業種における休業4日以上死傷者数386人以下（平成24年と比較して15%以上減少）

計画2年目の平成26年における平塚労働基準監督署管内の労働災害発生状況は以下のとおりでした。

死亡災害

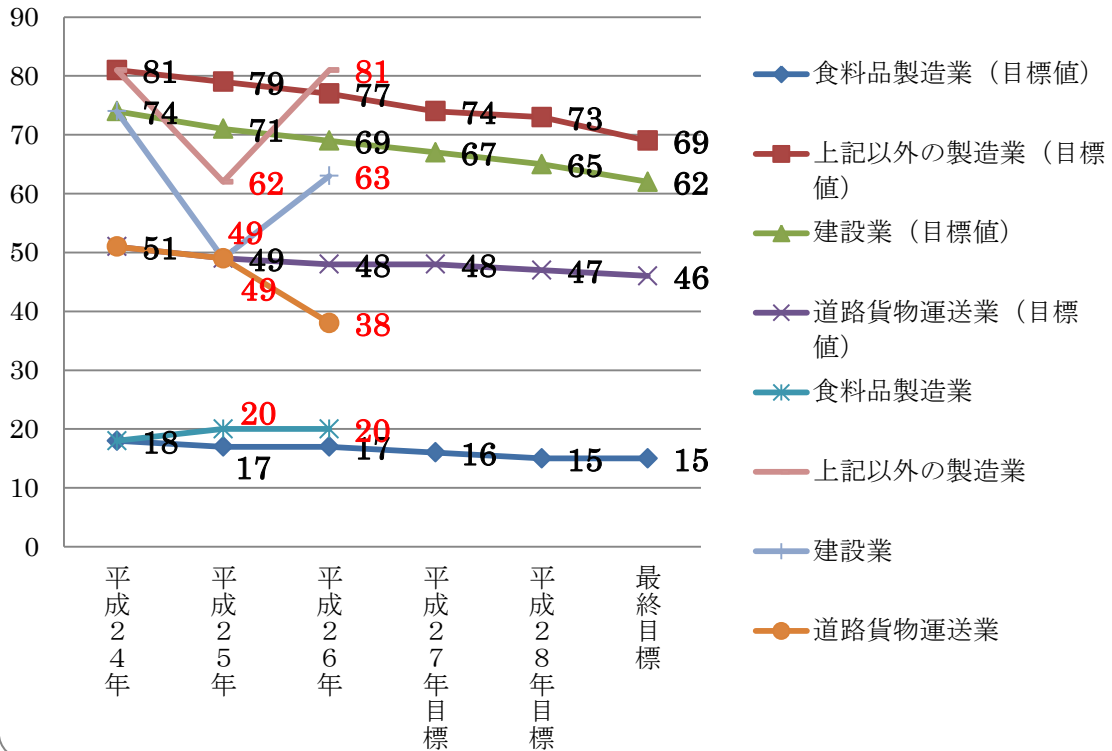
| | 平成24年 | 平成25年 | 平成26年 | 平成27年 | 平成28年 | 平成29年 |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 目標 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 実績 | 0 | 1 | 2 | | | |

12次防中間実績 死傷災害



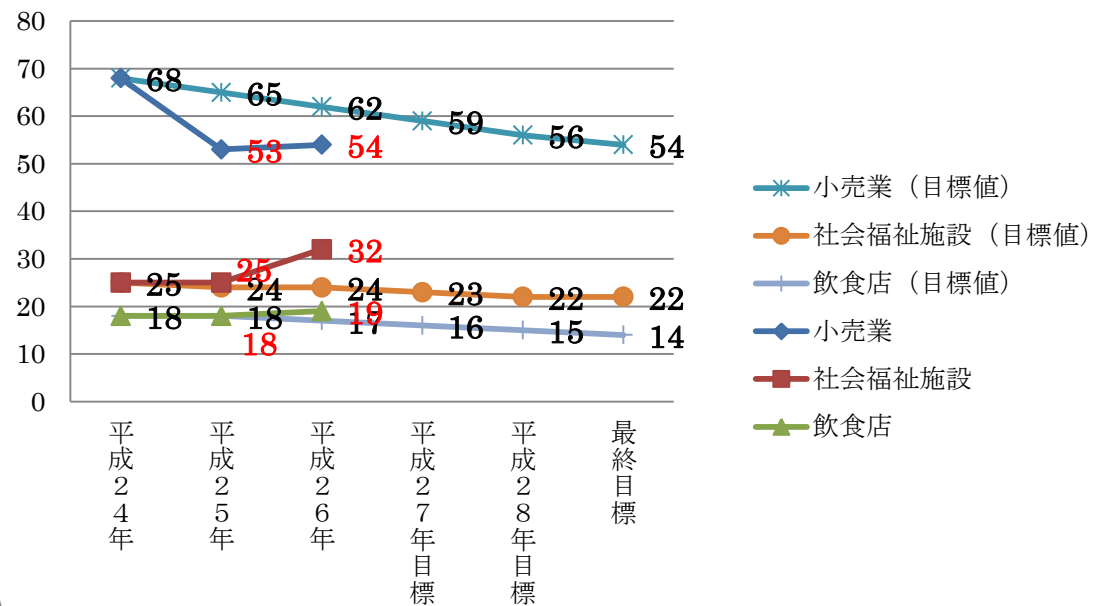
平成26年の休業4日以上労働災害発生件数は433人と、前年より3人（0.7%）増加し、同年の目標値である429人は達成できませんでした。

重点業種別目標値及び平成26年実績（1）



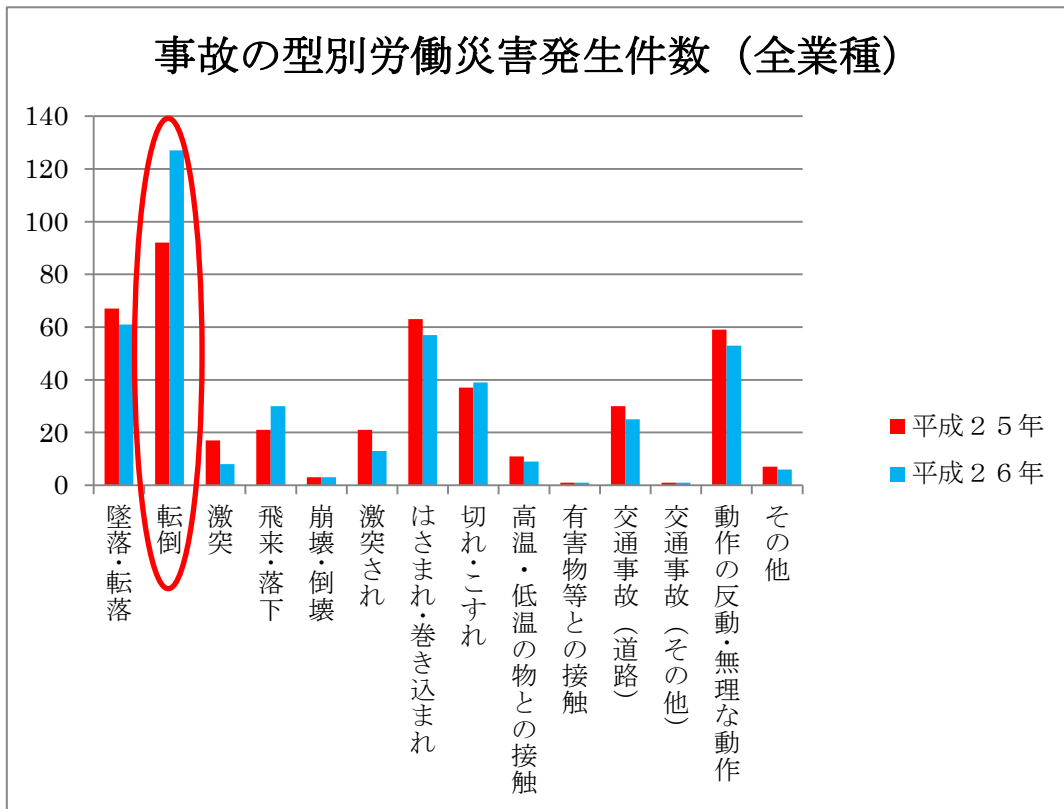
第三次産業以外の重点業種（製造業・建設業・運送業等）は、道路貨物運送業を除き、前年と同数以上となり、目標値に対しても、建設業と道路貨物運送業以外は目標値より多い件数となりました。

重点業種別目標値及び平成26年実績（2）

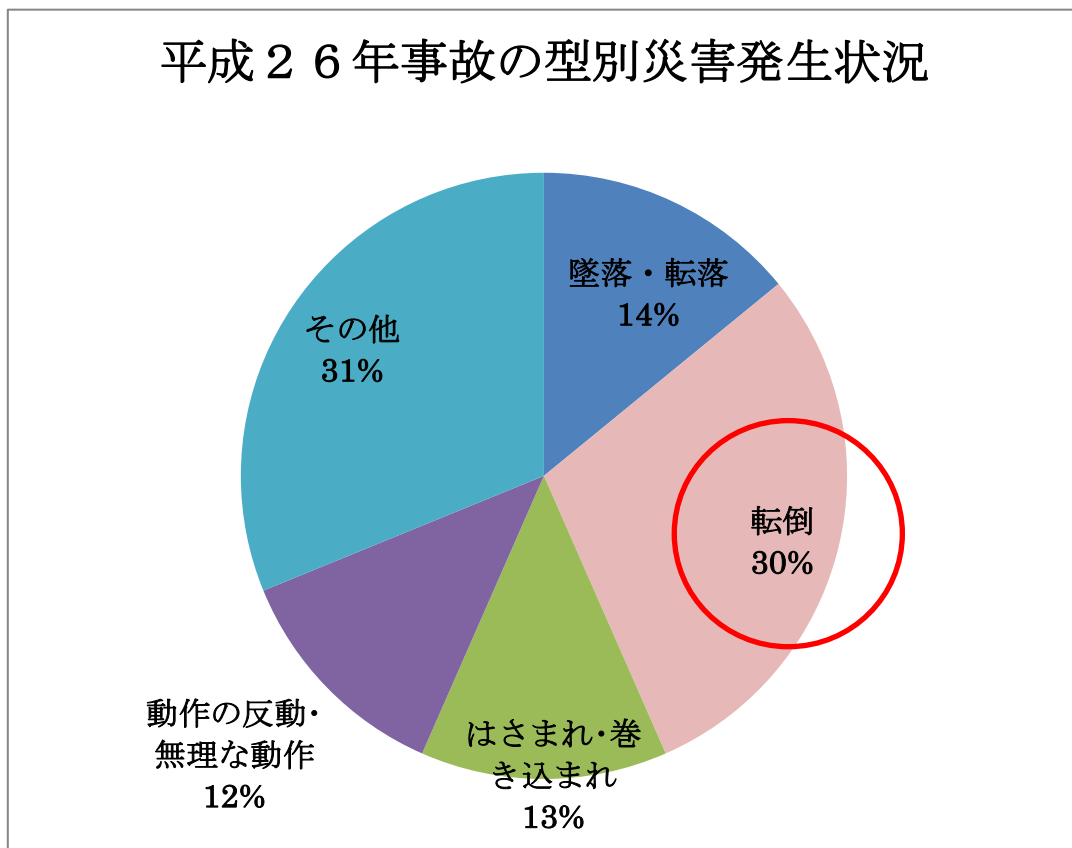


第三次産業の重点業種（小売業・社会福祉施設・飲食業）については、小売業、飲食店でほぼ横ばいでしたが、社会福祉施設の災害発生件数が増加しました。

事故の型労働災害発生状況

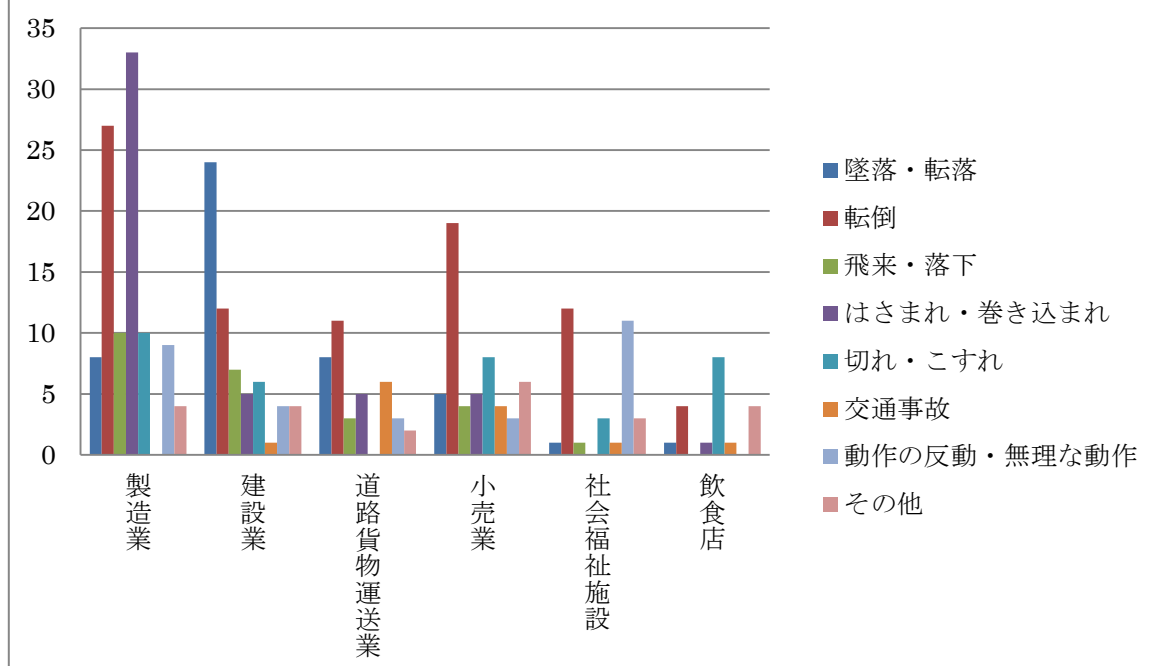


平成25年と比較して平成26年は転倒災害の発生件数が約1.4倍（92→127人）となり、急増しました。



転倒災害が最も多く全体の30%を占めています。

平成26年重点業種別・事故の型別発生状況



製造業では「はさまれ・巻き込まれ」、建設業では「墜落・転落」災害が最も多くなりました。社会福祉施設では腰痛等の「動作の反動・無理な動作」、飲食店では刃物等による「切れ・こすれ」が多く発生しました。

「転倒」は全業種で非常に多く発生しており、厚生労働省では『STOP！転倒災害プロジェクト2015』を全国的に展開しています。

STOP！転倒災害プロジェクト2015

～あせらない 急ぐ時ほど落ち着いて～

プロジェクト実施期間

平成27年1月20日から12月31日まで

「STOP！転倒災害特設サイト」をご活用下さい！

転倒災害の現状からその対策まで、事業場での取り組みに役立つ情報を集約してご提供します。

<厚生労働省 ホームページ>

「STOP！転倒災害プロジェクト2015」で検索

STOP！転倒